

インドネシア水道に関わる情報収集 No. 180802W

検索サイト	Google	実施日	2018/08/08	実施者	T.Masuoka
検索方法：「Indonesia Water supply」で検索					
URL: http://www.thejakartapost.com/news/2018/07/23/what-makes-jakartas-rivers-ugly-and-smelly.html					
標題：What makes Jakarta's rivers ugly and smelly?					
<p>内容：題名 ジャカルタの川が、不快で臭う原因は何か？</p> <p>○今夏の第18回アジア競技大会を前に、ジャカルタ州政府は、目障りとなる汚れた川を巨大なナイロンネットで覆い隠した。</p> <p>○ジャカルタの13の河川と支流の汚染の実態と原因及び清掃計画と実施の課題の紹介。</p> <p>記事の内容</p> <p>① どう汚染されているか？ 市内の河川の96%が極めて汚染されており、BOD、リン、窒素の濃度が高い。</p> <p>② 汚染はなぜ起きたのか？ ジャカルタの河川は250万m³/日の廃水（その70%以上が一般家庭（数百万世帯）及び商業ビルや産業活動による）を受け入れている。 2009年制定の法律では、廃水は川に流すことを禁じているが、守られていない。</p> <p>③ どのように川をきれいにするか？ 下水道（JSS）の導入（政府の計画）→2017年着手予定が2019年に延期。 この下水道により河川の汚濁をなくし、清浄な水道水を供給し、地下水の使用を削減させて地盤沈下を防止する計画である。 実施には、15の処理区を設定。うち処理区1と6が先行。 （処理区2は2020着工、2026完了予定、その後他の処理区に着手） 処理区1；処理量；198,000m³/日、費用；6.14億米ドル 処理区6；処理量；282,000m³/日、費用；6.6億米ドル ◎JICAが総額の55%を融資。 課題；下水管渠を地下20~30mに敷設→コスト・時間がかかり、経費を回収できない。</p> <p>④大規模下水道（JSS）の代概案はあるか？ 小規模な廃水処理システム導入計画；サブゾーンアプローチについて紹介。 工業団地／ビル単位での処理；浸透井戸の設置、地下水の保全及び排水の処理を要請</p> <p>④ 不法占拠地域への対策は？ 大規模排水処理システムの導入より、小規模な地域（不法占拠地域を含む）単位での処理システム導入とその優位性（コストおよびリスク等）について紹介。</p> <p>⑤ なぜ川の浄化という困難な作業に取り組まねばならないか？</p>					

住民の生活環境整備、上水道水源の増加（現在は必要量の 60%と不足している）
及び漁獲量が減少したジャカルタ湾の汚染拡大を防ぐ。

（現状；ジャカルタ湾は産業廃水・下水、産業廃棄物、農業廃棄物で汚染されている。）

備考 JSS ; Jakarta Sewerage System (ジャカルタ市下水道)